

平成22年度開講科目

| | 科目名 | 単位数 |
|-------------|----------------|-----|
| 博士課程前期 | 論文指導演習 | 4 |
| | 資料保存展示論研究 | 4 |
| | 地域博物館論研究 | 4 |
| | 博物館史特論 | 2 |
| | 博物館学史特論 | 2 |
| | 欧米博物館史特論(外書講読) | 2 |
| | 博物館関係法規特論 | 2 |
| | 博物館資料論特論AⅠ(金工) | 2 |
| | 博物館資料論特論AⅡ(有職) | 2 |
| | 博物館資料論特論BⅠ(民俗) | 2 |
| | 博物館資料論特論BⅡ(絵画) | 2 |
| | 博物館経営特論 | 2 |
| | 博物館教育活動特論 | 2 |
| | 展示工学特論 | 2 |
| 博物館学専門実習 ※1 | 4 | |
| 博士課程後期 | 論文指導演習 | 4 |
| | 資料保存展示論特殊研究 | 4 |
| | 地域博物館論特殊研究 | 4 |
| | 博物館学特殊実習 ※2 | 4 |

※1…学術資料館でのインターンシップ1単位を含む

※2…夏期集中学外実習・国内外でのインターンシップ1単位を含む

国学院大学研究生院の「高級博物館学教育課題」, 2009年被日本政府的文部科学省所采纳。本课题是依国学院大学至今培养出众多博物馆学研究员经验为基础。为此, 在本课题中, 就日本国内、中国、韩国、英国博物馆一道, 共同推进此事业, 而特设立国学院大学博物馆学教育研究信息中心。

.....
 국학원대학 대학원의 「고도박물관학 교육프로그램」은 일본 정부의 문부 과학성에서 2009년에 채택되었습니다. 이 프로그램은 국학원대학이 지금까지 다수의 박물관 학예사를 배출한 업적을 기반으로 하고 있습니다. 국학원대학박물관학 교육연구정보센터는, 이 프로그램 중에서 특히 일본 내 한국, 중국, 영국의 박물관과 공동 사업을 추진하기 위해서 설립되었습니다

The Highest education program on Museology in Graduate School of Kokugakuin University has adopted governmental support by Ministry of Education and Culture, Sports, Science and Technology in 2009. This program is based on the experience of producing many quality curators (Gakugeiin) graduated from Kokugakuin University. Kokugakuin University Center for Museological Education and Research (KUCMER) has founded to promote this program, especially coordinating the co-operation work with museums in Japan, Korea, China and U.K.

【お問い合わせ先】
 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
 4-10-28 Higashi, Shibuya-ku, Tokyo 150-8440, JAPAN

國學院大學文学部博物館学研究室
 電話：03-5466-0268・0257 FAX：03-5466-0268

國學院大學研究開発推進機構博物館学教育研究情報センター
 電話：03-5466-6676

文部科学省大学院GP

國學院大學大学院

高度博物館学教育プログラム



大学院委員長・文学研究科委員長

鈴木 靖民 教授

國學院大學大学院では、高度博物館学教育プログラムが文科省平成21年度「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に採択され、ただちに文学研究科史学専攻のなかに博物館学コースがスタートした。國學院大學が長年培ってきた史学、文学、神道学などの成果をふまえて、大学内外に蓄積された多数の人文科学遺産を博物館(美術館)の場、博物館学を通じて社会に広く伝え、活動する方法とその実践を体系的、組織的に学ぶ取組みである。博士課程前期、後期ともに修士、博士の学位だけでなく、同時に独自のライセンスをも取得できるシステムを設けた。ともに日本最初のモデルとして注目を浴びるだろう。国内はもとより、海外との交流も始まっている。大方のご支援を願ってやまない。



取組実施担当者代表 博物館学研究室

青木 豊 教授

昭和33年、樋口清之博士によって全国で3番目に開講されました國學院大學博物館学講座は、本年で51年目を迎えました。この間、6,500余人の有資格者を輩出し、我が国の博物館界に占める院友学芸員は他大学と比較して最も多く、社会的にも大きな評価を得ているところであります。

平成21年2月に、学芸員養成の資質向上を目的とした文部科学省による博物館法施行規則の改正により大学において修得すべき博物館に関する科目と単位数が引き上げられたことは、社会のニーズに起因するものと思われます。

かかる社会情勢を目的とし、大学院文学研究科史学専攻の中に「博物館学コース」を平成21年10月1日より設立致しましたので、皆様方のご理解、ご支援の程宜しくお願い致します。

目的

本プログラムは、博物館学に関する大学教育に携わることができる**研究教育者**、ならびに高度な博物館学の知識・技能を有する**上級学芸員**の養成を目的としています。

特質

平成21年度後期より文学研究科史学専攻内に新設された博物館学コースを中核に、文学研究科各専攻が培ってきた高度で専門的な人文科学の教育・研究を組み合わせることによって、専門性・学際性を兼備した博物館学研究者や学芸員を養成することにあります。

その他、博物館関連企業との連携、**東京国立博物館等でのインターンシップ**、本学以外の様々な博物館関連施設への積極的参加により、学芸員としてのコーディネート能力、及び実務経験を高めることを目標とします。

複専修制度

本プログラムは、文学研究科史学専攻を主軸とし、文学専攻、神道・宗教学専攻を加えた計3専攻の課程において高度博物館学の体系的な教育を、主専攻が併行して履修することが可能な**複専修制度**を導入しております。

専攻ごとにそれぞれコースワークは異なりますが、3専攻とも修了要件単位数を取得することによって、修了時に國學院独自の資格の授与がなされます。史学または文学専攻においては、主専攻で培われる古典文献や民俗資料等の専門知識はもとより、当カリキュラムでそれら一次資料の取り扱いの実務に当たり、長じることにより文学館や民俗資料館等において指導的役割を果たす学芸員の養成をします。

学部卒業生（学芸員有資格者）・
現役学芸員・博物館学教員・社会人

1年次

基礎
高度博物館学の基礎的知識
博物館史
博物館学史
外書講読

2年次

博物館学専門実習
インターンシップ
展示工学
博物館学経営論
博物館学教育活動論
学会発表・学術論文の投稿
修士論文の作成
修士課程修了

修士（歴史学、文学、民俗学、神道学、宗教学）
國學院ミュージアム・アドミニストレーター授与

3年次

基礎から応用
博物館学特殊実習
国内外実施

4年次

応用から展開
国際インターンシップ

5年次

展開
学会発表、学術論文の投稿
博士論文作成
博士課程修了
國學院ミュージアム・キュレーター授与
論文審査
博士（歴史学、文学、民俗学、神道学、宗教学）

博物館学プログラム基本概念図

高度博物館学教育プログラム

体系的な知識と技能を備えた博物館学研究者と上級学芸員の養成



また、神道学・宗教学専攻においても同様に神社に関わる資料や文献の取り扱いの実務に熟習することで、神社付属の宝物館や資料館を取り仕切ることが出来る専門職業人としての神職の養成をします。

資格の授与

基礎・応用・展開からなるこれらの体系的かつ組織的なプログラムを実施することにより修士・博士学位授与の質・量の拡充を図ると共に、本学独自の資格である「**國學院ミュージアム・アドミニストレーター**」及び「**國學院ミュージアム・キュレーター**」の資格を授与します。

履修課程

必要不可欠な実践的技能的習得についても、國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター資料館などにおいて、通年の恒常的な**学内インターンシップ**を同機構専任教員の指導のもとにRA・TAが参画して実施することにより、収集から整理・保存・展示に至る技能の習熟に努めます。

博物館学教育研究情報センター

本プログラムを円滑に実施するための拠点的役割を果たす**博物館学教育研究情報センター**を研究開発推進機構内に新設し、同センターを中心にして海外博物館との共同調査・インターンシップ、本学と関わりの深い神社博物館における研究・実習や、学校と連携し小学校などに付設された博物館・資料館で地域文化資源の「保存と活用・展示」を実践する専門・特殊実習授業等を展開します。